

Japaneseman In NY (ニューヨーク生活)

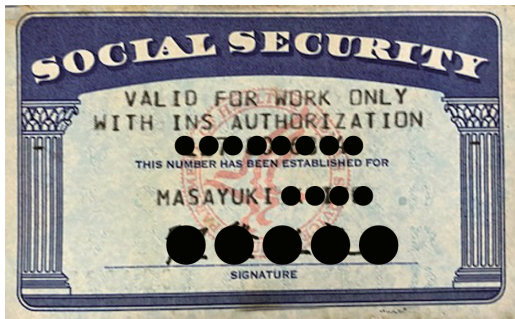


Photo : Social Security Card

◀ Social Security Number ▶

今回はニューヨーク生活の中で取得した Social Security Number (ソーシャル・セキュリティ・ナンバー、以下「SSN」)の話。日本で例えると、2015年に導入されたマイナンバー制度のようなもので、アメリカでSSNが導入されたのは1936年のことらしい。SSNはアメリカ国民、永住権所有者及び労働等を目的とした一時的な居住者に対し発行される個人番号とされる。

元々ニューディール社会保障計画の一環として、労働者個人の生涯所得を把握して年金等社会保障の給付に利用するために創設されたものらしく、社会保障法に基づいて、政府機関の社会保障局が管轄しているようだ。

アメリカ国内におけるほぼすべての合法的な居住者はSSNを所有しており、就職、口座開設、ローン契約などの経済的活動は、SSNなくしては困難となっているようだ。アメリカではパスポート、運転免許証と並ぶ存在のようで、新型コロナウイルスのワクチン支給において用いられているようだ。

自分もニューヨーク生活をしている時に、取れるなら取っておいた方がいいと誰かに言われ、取りに行き取得した。自分の場合は一番欲しかったのはグリーンカード(アメリカ永住権)だが、SSNを取得し、ソーシャル・セキュリティ・カードを手にした時は、何となく勝手にニューヨーク市民として受け入れられたような気持ちになったのを覚えている。SSNはアメリカ市民と合法的に働ける移民にしか発行してもらえず、現在は普通の語学留学だと取得はかなり難しいそうだが、当時たった1ヶ月だけしか英語学校に通わなかったのに取得出来てしまったため、かなり緩い時代だったのかもしれない。

ちなみに、一番欲しかったグリーンカードには5つの取得方法がある。①配偶者(結婚)・家族、②DV抽選永住権、③米国への投資(EB-5)、④自己の才能および能力、⑤米国の雇用先(スポンサー)のサポート。①が一番現実的だったかもしれず、当時シアトルにいたアメリカ国籍の叔父叔母夫婦が養子に迎えてくれるような話が一時あったりもしたが叶わず、②は数年に渡って応募を試みたが、毎年擦りもせず、③〜⑤は論外で、結局どれも叶わず、丸4年のニューヨーク生活を経て帰国することになった。

これも運命。当時何かの形でグリーンカードが取得出来て、そのままニューヨークに住んでいたとしても、どのような人生を歩んでいたかは分からず、未だにウェイターを続けてその日暮らした可能性も大きい。また、少なくともあのままニューヨークに住み続けていたら、おそらく本誌を創刊するようなことはなかっただろう。今となっては、何故か取得出来てしまったSSN入りのソーシャル・セキュリティ・カードが、ニューヨークに住んでいた証の一つとして懐かしく、また、誇らしげに思える。

Hawaii Walker's (ハワイの歩き方)

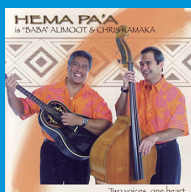
Kualoa Ranch

クアロア・ランチ

今回はワイキキから車で約50分、オアフ島の北東部に位置する「クアロア・ランチ」。約500万坪(東京ドーム約450個分)の広大な敷地を誇り、山々や渓谷、プライベートビーチも広がる秘境の大地でスピリチュアルな雰囲気満載の絶景スポット。映画「ジュラシック・ワールド」や「キングコング」「ソウル・サーファー」の他、ハワイが舞台の人気ドラマ「HAWAII FIVE-0」、TVコマースシャル撮影等、様々な作品のロケ地としても有名な場所。乗馬や映画ロケ地ツアー、ラプターツアー等も楽しめる人気スポット。

HP : <https://www.kualoa.com>

◀ ハワイな一枚 ▶



トゥー・ヴォイセス、ワン・ハート ヘマ・パア

Hula Records [Import CD]

ウクレレの「パバ」・アリムートとアップライト・ベースのクリス・カマカによるアコースティック・デュオ・ユニット「ヘマ・パア (Hema Pa'a)」のアルバム。